

受講生が試験時にケーススタディ報告書を正しく提出できるよう、担当講師は、授業の際に説明してください。

- 提出日 認定試験当日、受付に提出すること。

- 提出内容
 - ・ 表紙
 - ・ ケーススタディ報告書 No.1 (親子のプロフィール)
 - ・ ケーススタディ報告書 No.2 (プログラム用紙計3枚)
 - ・ ケーススタディ報告書 No.3 (報告1回目・2回目)
 - ・ ケーススタディ報告書 No.4 (報告3回目・まとめ)(※まとめて左上にホッチキス留めをする)

- ルール
 - 《対象者について》
 - ・ お話ができるようになる前のお子様とそのママを対象とする。
 - ・ 各ケーススタディの参加親子は、1組以上の参加で行う。
 - ・ ケーススタディ3回通して参加してもらう親子が1組以上いること。
 - ・ 家族・ファーストサイン有資格者・受講中の方をケースモデルにするのは不可とする。
 - ・ 1回の教室に2組以上の親子が参加しても1ケースとする。

 - 《開催回数・日数について》
 - ・ 全3回開催する。
 - ・ 開催の間隔は中5日以上あけ、1ヶ月以内に行うこと。
※その間、家庭でも実践してもらうように促す。

 - 《添付写真について》
 - ・ 日付入りの写真とする(日付の手書きは不可)。
 - ・ お教室の内容や様子が分かる写真とする。
(親子と先生3人が写っていること)
 - ・ 記念写真のような形は不可。
 - ・ 写真はレポートに貼付ける。

- その他
 - ・ 1回目が試験日より6ヶ月以上前のケーススタディは全て無効とする。
 - ・ 報告書に不備があった場合、試験に合格してもケーススタディを再提出するまでディプロマの発行を見合わせる。